

酷暑厳しい中、歴史と信仰の道歩く 高安山～信貴山

2020年9月12日

<参加メンバー> 10人(男性5人、女性5人)

<天候> 晴れ

<コースタイム>

近鉄信貴線服部川駅前 9:20 発 — 9:31 歴史民俗資料館前 — 9:39 水呑地蔵堂登山道下で小休止 9:58 — 10:35 水呑地蔵堂 10:55 — 11:14 十三峠 — 11:55 高安山手前の広場でランチタイム 12:22 — 15:57 高安山 — 13:34 信貴山頂上 13:52 — 14:05 朝護孫子寺(信貴山寺) 14:23 — 15:15 近鉄生駒線信貴山下駅

<山行の概要>

生駒山系南部の高安山から信貴山へと縦走した。高安山へは信貴山口駅から登るのが一般的だが、服部川駅からスタートして水呑地蔵堂、十三峠を経て高安山へのルートをとった。高安山は全く展望がきかないが、地蔵堂や途中のところどころで河内から大阪平野、奈良盆地など素敵な展望が楽しめるコースである。

信貴山は歴史のある山で、朝護孫子寺(信貴山寺)の壮大な堂塔伽藍は圧巻であった。

9月に入ったとはいえ残暑が厳しく、汗まみれとなってひたすら歩いた。

実行動時間：約5時間55分



1. 各自ストレッチを行って服部川駅を出発



2. まずは民家の間の狭い道を進む



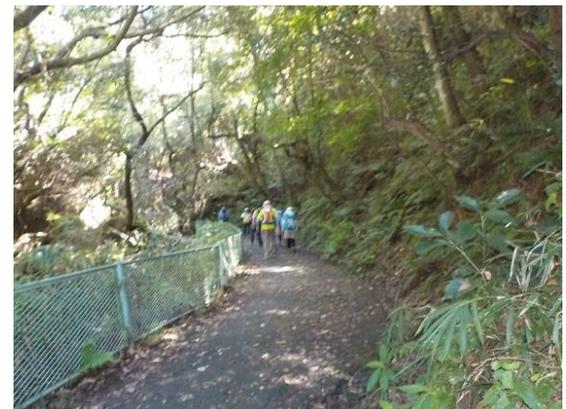
3. 車道歩きがしばらく続く



4. 歴史民俗資料館前を通過すも中には入らず



5. 車道終点の地蔵堂手前の開けたところで小休止、汗をぬぐう



6. 暫くは舗装した沢伝いの道を進む



7. 水呑地蔵堂までの道沿いにはお地蔵様が何基もまつられている



8. 大きなクヌギの根元が空洞になって、雨の時はビバークできる



9. 水呑地蔵堂にようやく到着



10. 地蔵堂からは手前の河内の町並みから先大阪平野すべてが見渡せる。明石海峡大橋もしっかり見えた



11. 十三峠へとまた登り始める



12. 途中、信貴生駒スカイラインを横切る



13. 生駒縦走歩道へと入り、ドライブウェイ沿いの道を進む



14. 十三峠を通過



15. この道は近畿自然歩道にもなっている



16. 高安山手前の木陰でランチとした



17. 道標があったが道から離れた高安山への道が分かりにくい



18. 高安山頂上 全く展望なし



19. 高安山から 40 分弱で信貴山頂上に到着



20. 空鉢護法堂の建つ信貴山頂上



21. 朝護孫子寺へと下って行く



22. 朝護孫子寺の本堂



23. 荘厳で立派な堂塔伽藍



24. 有名な虎の張り子タイガースの選手も必勝祈願に訪れるそう



25. 参道を下っていく



26. 廃線となった東信貴山ケーブルの跡がハイキング道になっておりそこを
通ってきた。ここはその入り口



27. 近鉄生駒線信貴山下駅に
到着し、今回の山行は終了した。

